

# CUPRE

## News Letter

特集1

IoT・AI・ロボット導入 経営人材育成講座の開催

特集2

2023年度セミナー・シンポジウムの開催

No. **6**  
2024



2023.7.12 開催 シンポジウム「データサイエンスと都市公共政策 ～人材育成と高等教育～」



# IoT・AI・ロボット導入 経営人材育成講座の開催

8月4日から9月22日までの期間において、全8回にわたりIoT・AI・ロボット導入経営人材育成講座を開催しました。本講座は2020年度から開催している名古屋市・名古屋工業大学との連携事業であり、今年度で4年目を迎えました。本学では、都市政策研究センターが中心となって運営しています。



本講座は、中小企業におけるIoT・AI・ロボットの導入を推進するため、企業の経営者層(30社を公募)を対象に開催しているものです。IoT・AI・ロボットに精通した本学専任教員8名により、IoT・AI・ロボット導入の計画や検討を行ううえで必要な基礎・応用知識を学ぶ多彩な講義内容の講座を開講しました。各回では、IoT・AI・ロボットに関する知識を身に付けるだけでなく、実際の導入事例を学び、さらには基礎的な技能習得も目指しました。受講者からは「最新のデジタル分野に関する知識を学ぶことができ、大変貴重な経験でした」との声も聞かれ、好評を博しました。

## プログラム概要

回	テーマ	担当教員名
1	オリエンテーション(経営、コアコンピタンス、情報/データの価値、AI思考ワーク)	鵜飼 宏成 (大学院経済学研究科 教授)
2	個人情報保護法の改正と個人情報取扱事業者等の義務の概要	小林 直三 (大学院人間文化研究科 教授)
3	情報セキュリティ・サイバーセキュリティ	小川 泰弘 (データサイエンス学部 准教授)
4	AI・IoT概論	大谷 隆浩 (大学院医学研究科 講師)
5	機械学習基礎(プログラミング入門)	渡邊 裕司 (大学院理学研究科 教授)
6	機械学習基礎(データの利活用と分析の基礎)	三澤 哲也 (データサイエンス学部 教授)
7	ロボット基礎及び活用事例紹介	加藤 大香士 (大学院芸術工学研究科 准教授)
8	人間工学分野での活用事例紹介	横山 清子 (データサイエンス学部 教授)

都市政策研究センターとしては、受講者の様々な声を糧にして、引き続き、IoT・AI・ロボットの導入に関する学びの機会を提供していきます。なお、来年度の開催につきましては、後日、当センターのホームページに案内を掲載する予定です。

## 温知学要

都市政策研究センターでは2019年度より、学生の社会貢献活動・地域貢献活動をサポートする目的で、名市大未来まちづくり活動支援事業「温知学要」(おんちがくよう)をスタートさせました。今年度に採択された4団体は、いずれも積極的に企業や関係機関と連携し、課題実現のための活動を行いました。また、中間報告会(12月)と最終報告会(3月)で活動成果を発表し、教職員から有益な助言を受けました。



映像によるまちづくり  
ヤングケアラーの啓発動画の作成

(芸術工学部の学生)

**名古屋市デジタル人材育成事業**

名古屋大学・名古屋工業大学・名古屋市立大学の連携事業です！  
名古屋大学では、企業のIoT・AI・ロボット導入促進のため、経営者向けに「経営人材育成講座」を開講するとともに、専門人材・経営人材両講座での「合同講座」を開催します。

最多  
30社

受講料  
無料

**2023年  
8月開講!**

**経営人材育成講座**

8回

合同講座  
2回

**IoT・AI・ロボット導入**

**基礎編**

IoT・AI・ロボットを導入する前提として、自社の強みを把握し、その強みを活かしてIoT・AI・ロボットを導入するための経営者層や個人情報保護・機械学習の重要性について学びます。

**応用編**

ロボット基礎やIoT技術、産業応用事例の紹介、人間工学・機械学習分野におけるAIの具体的な活用事例を学びます。

詳しくは「IoT・AI・ロボット導入の経営者層向けセミナー」Webサイトをご覧ください。

**CUPRE J**  
<https://cupre.ncu.nagoya/>

主催: 名古屋市

運営: 名古屋工業大学

Nagoya city Lab

名古屋大学



# 2023年度セミナー・シンポジウムの開催

今年度のシンポジウムは、4年ぶりに対面で開催しました。これからの社会や都市公共政策において、どのような形でデータサイエンスの活用が期待されているのか、データサイエンスの可能性と高等教育のあり方を中心に、意見が交わされました。連続セミナーにつきましては、昨年度に引き続き、オンラインでの開催となりましたが、都市政策や自治体等の最新動向を学ぶ実りある機会となりました。

## シンポジウム

### データサイエンスと都市公共政策 ～人材育成と高等教育～

第1部 基調講演 「デジタル時代の人材像とデータサイエンスの未来」

第2部 パネルディスカッション

(1) デジタル社会に求められる人材 (2) 都市公共政策とデータサイエンス (3) データサイエンスの可能性

データサイエンス学部との共同開催で、293名に参加いただきました。浅井学長の挨拶に続き、日本電気(株)AI・アナリティクス統括部長の孝忠大輔氏による「デジタル時代の人材像とデータサイエンスの未来」をテーマとした基調講演では、学部1期生に対する期待のエールが送られました。小林直三教授のコーディネートのもと、孝忠氏、名古屋市総務局長の杉浦弘昌氏、データサイエンス学部の三澤哲也学部長、辰己賢一教授、原田峻平講師の5名によるディスカッションでは、産官学の立場から熱い議論が交わされました。シンポジウムに参加したデータサイエンス学部の1期生達からは「新しいことに常に挑戦し、名市大のデータサイエンス学部を切り拓いていく学生になりたい」との感想がありました。



## 連続セミナー

### 第1回

### 地方自治体における子どもの権利保障の展望

谷口 由希子 大学院人間文化研究科 准教授

子どもの権利に関する基礎知識について、社会構造、相対的貧困などに触れながら説明されました。問題点として、行政が支援しようとしても、支援の対象となることの恐怖、あるいは虐待や不適切な子育てをしている親として社会的に見なされるため、子どもが問題を隠す事例が挙げられました。続いて子どもの権利擁護機関、名古屋市子どもの権利擁護委員制度の紹介、フィンランドにおける子どもの権利保障の理念について説明されました。最後に「子ども期」という固有の発達段階にある子どもを尊重し、子どもの権利擁護について考え続けることが、かつて子どもだった私たち大人、そして社会に課せられた役割であるという考えが示されました。

名古屋市子どもの権利擁護委員

・子どもの権利を守る文化及び社会をつくり、子どもの最善の利益を確保するための機関です。(条例第1条)

2014年 名古屋市子どもの権利擁護委員条例制定  
2020年1月 名古屋市子どもの権利擁護委員「なごみっ子」開設  
・名古屋市長が設置していますが、子どもの権利を守る独立した第三者機関です。@nagoya-city



## 連続セミナー

### 第2回

### 地方行政におけるデータ活用とEBPMの基礎

原田 峻平 データサイエンス学部 准教授

EBPM(証拠に基づく政策立案)とは、これまでの客観性に欠ける「エピソード・ベース」の政策立案を改め、データを用いて客観性を高めた「エビデンス・ベース」での政策立案を目指す点である点が説明されました。エビデンスとは、政策効果の測定に重要な関連を持つ情報やデータの中で、質を高めることが重要となります。レベル4の「専門家の意見を参照」からレベル1の「ランダム化比較実験」まであり、後者については、ワクチンの例を用いて、実験対象であるワクチンを打ちたい人と打ちたくない人をランダムに分け、介入グループと比較グループで比較し、差を分析することの重要性が説明されました。



#### HAMON

オリジナルボードゲーム『HAMON』による  
思考力を養う機会の提供  
(経済学部の学生)



#### UMIGAME

10年後になくなる?!  
海洋ゴミ削減プロジェクト  
(経済学部の学生)



#### lien

廃棄野菜を再活用した商品の販売  
(経済学部の学生)

## 2023年度の活動実績

## ○IoT・AI・ロボット導入経営人材育成講座

2023年8月4日(金)～9月22日(金)18:00～21:00

@名古屋市立大学滝子キャンパスまたはZoomによるリアルタイムオンライン開催

## ○都市政策研究センター 2023年度シンポジウム

(データサイエンス学部との共同開催)

2023年7月12日(水) 13:30～16:00

@名古屋市立大学桜山キャンパス(さくら講堂)

## ○都市政策研究センター 2023年度連続セミナー 第1回

2023年12月13日(水) 19:00～20:30

Zoomによるリアルタイムオンライン開催

## ○都市政策研究センター 2023年度連続セミナー 第2回

2024年 1月17日(水) 19:00～20:30

Zoomによるリアルタイムオンライン開催

## 受託実績(一部抜粋)

・国立大学法人名古屋工業大学

・名古屋市スポーツ市民局市民生活部消費生活課

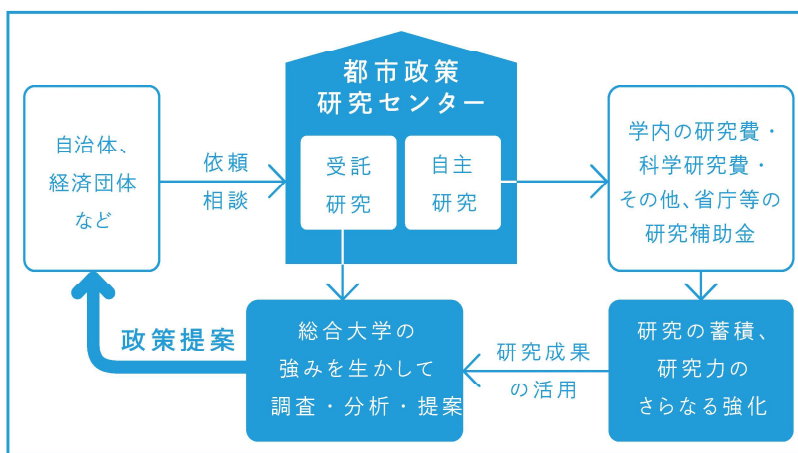
・名古屋市経済局産業労働部 ほか

## 名古屋市立大学 都市政策研究センター(CUPRE)

## センターの紹介

当センターは全学的な共同研究体制のもと、名古屋大都市圏が抱える地域課題に対して、解決に寄与する調査・分析・提案を進めます。

「CUPRE」というのは、Center for Urban Policy Research and Educationの頭文字を並べたものです。



ロゴマークは、NCUとCUPREを組み合わせたデザインです。CUPREと読めるようにNを右側にし、NCUを一筆書きでまとめました。「N」は都市をイメージさせる、ビルをモチーフにしました。

## お気軽にご相談ください

当センターのスタッフとして参加する教員は、講演会や研修会の豊富な講師経験があります。

また、学生を交えたまちづくりワークショップなども対応が可能です。

## お問い合わせ

当センター事務局までお問い合わせください。

e-mail : [cupre@sec.nagoya-cu.ac.jp](mailto:cupre@sec.nagoya-cu.ac.jp)

tel : 052-872-3527

公式ホームページに  
アクセス!



## 注目のキーワード

## 「データサイエンス」とは?

最近よく聞く「ビッグデータ」という言葉は、デジタル化の進んだ現代社会に大量かつ多様なデータがあふれていることを表しています。しかし、単にデータがあるだけでは、我々に有益な知見をもたらすものとはなりません。大量かつ多様なデータを、急速に進化するAIなどの情報技術や統計学の知識を使ってうまく活用することが、データサイエンスの目的です。データサイエンスは、これからのビッグデータを社会課題解決につなげ、社会をより良くしていくために必要不可欠な学問分野として期待されています。名古屋市立大学では、2023年4月にデータサイエンス学部を新設し、都市政策研究センターとも連携しながら教育・研究を進めています。